

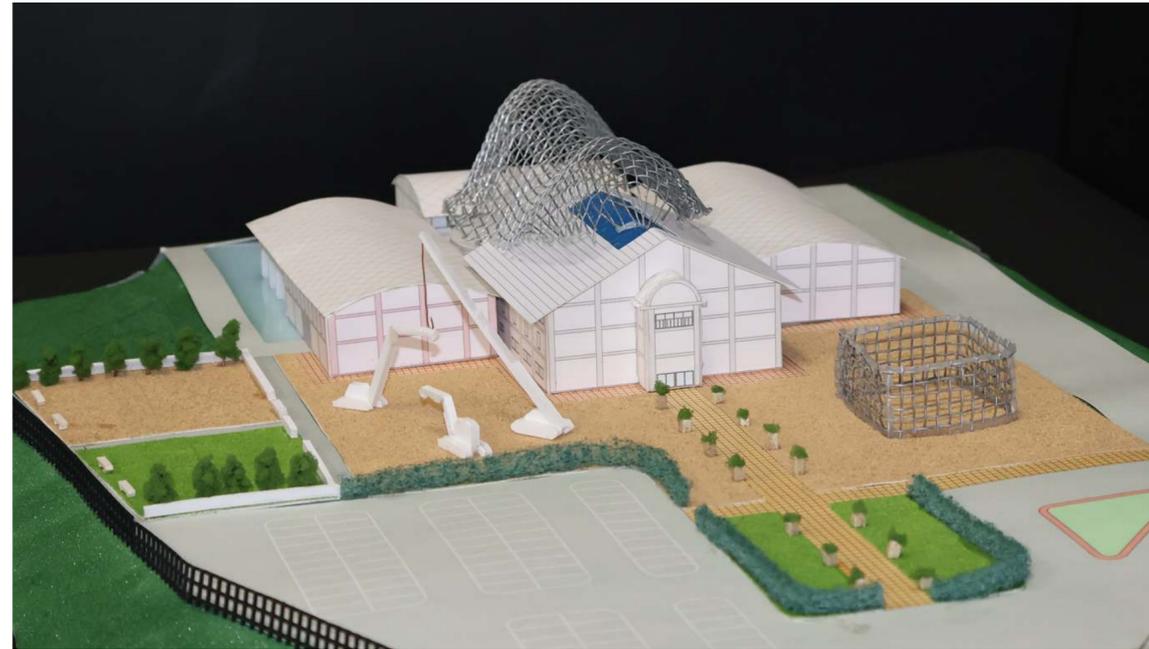
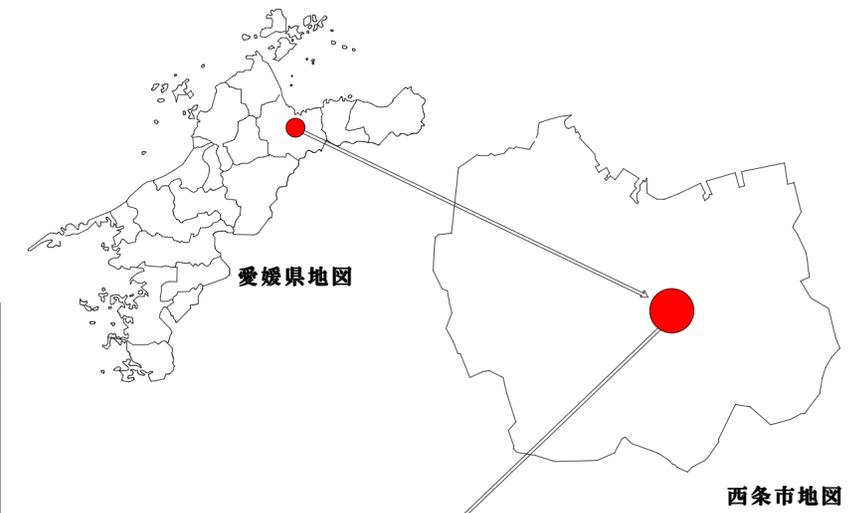
# 愛媛県立建築博物館

私はこの3年間で建築について様々な構造や特徴について学習しました。建築とは世になくなくてはならないものであり、生活の礎でもあります。そんな魅力あふれる建築について、分かりやすく一般の人にも伝えたいという思いから、建築専門の博物館を設計したいと考えました。

建物ごとに木・鋼・RCと構造材を替え、それぞれの建物が構造材に関する展示スペースになっている。また展示スペースの中心にはモデルとなる建築物そのものを展示することで、その場で特徴を学ぶことができます。

さらに一部の階をピロティにすることで中庭が充実して、憩いの場もなっている。

この施設を通して、家を建てる際に活用して欲しいという思いと、昨今の震災への思いがあります。震災による被害で人生は一変してしまいます。つまり一般の方が建築に対してより知識を高めていくことこそが生活を守ることにつながり、人生を充実したものへと変えてくれると思います。だからこそ、この建築専門博物館「愛媛県立建築博物館」が必要であると確信しています。



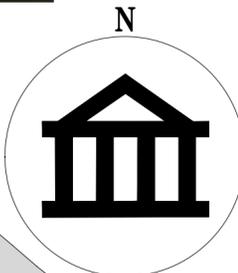
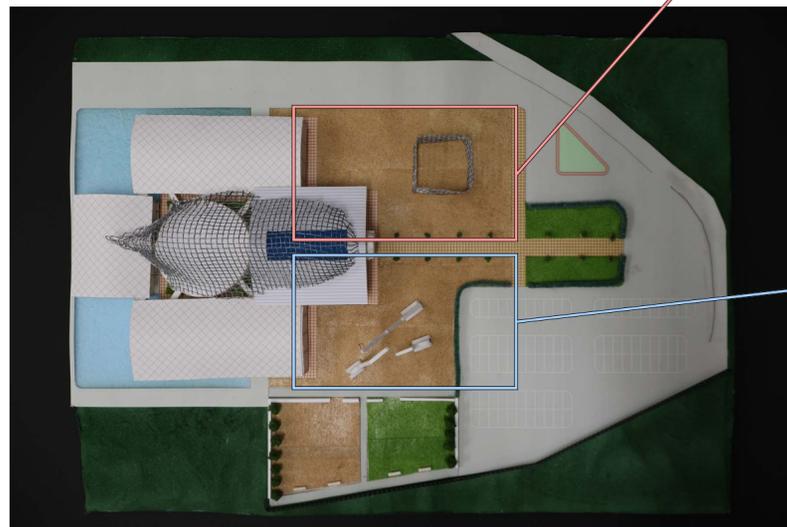
西条ゴルフ倶楽部の2ホール分を建設予定地としている。

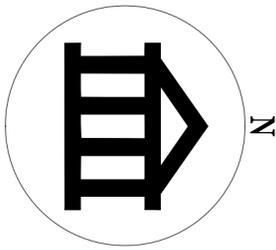
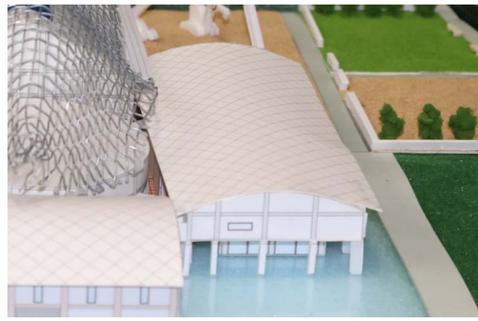


**工事現場体験スペース**  
工事現場の中の様子が再現されていて、建てられる過程を見学や体験したりすることが出来る。

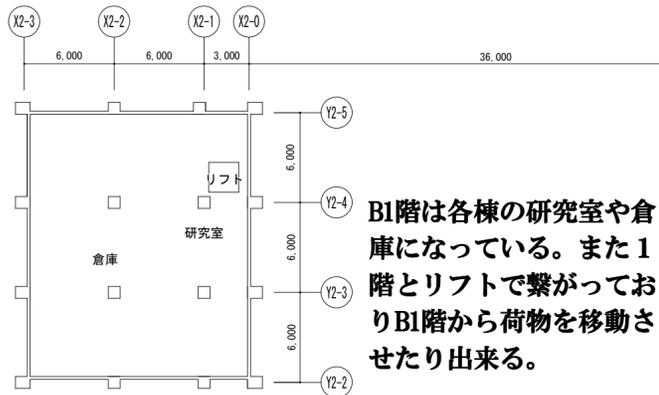
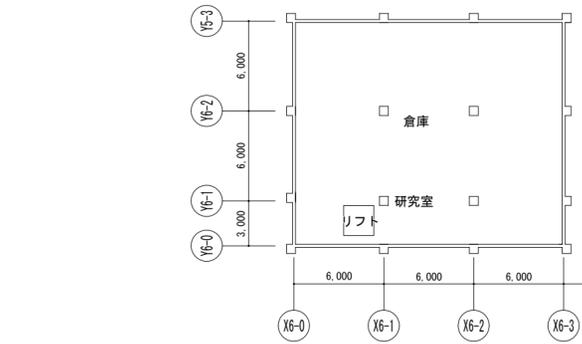
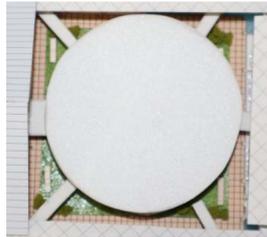


**重機体験スペース**  
ここでは重機に乗ることができ、重機の操縦の仕方や仕組みについて知ることが出来る。





図書館の1階中央部はサポア低のようなピロティになっているまた、1階はガラス張りになっている。2階は1階の大きさに対して吹き抜けになっている。1階からは中庭の様子や水を張った外部、それに反射した石鏡の景色を眺めることができ、2階からは1階の様子や、外を望むことができる。

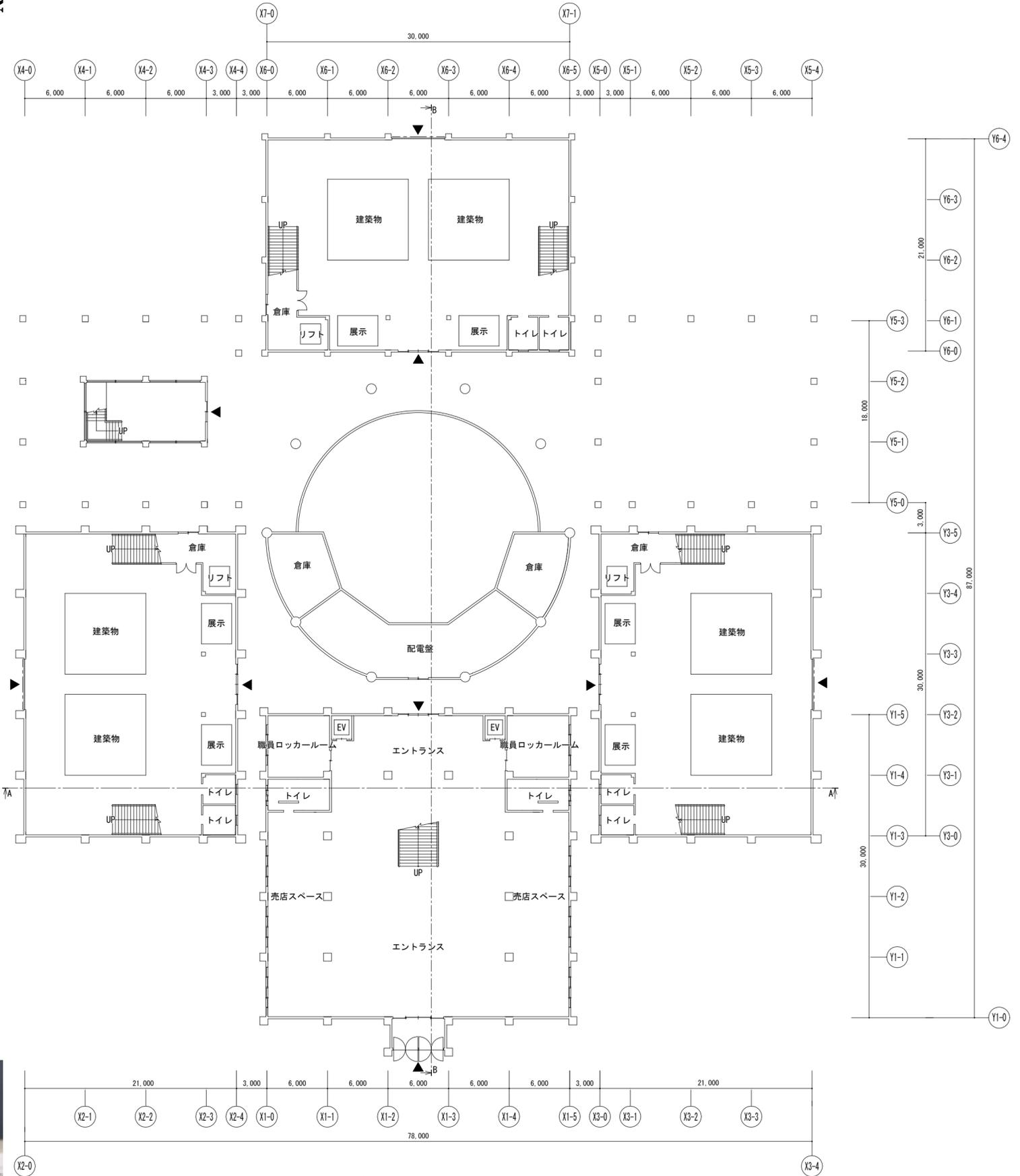


B1階平面図 1/350

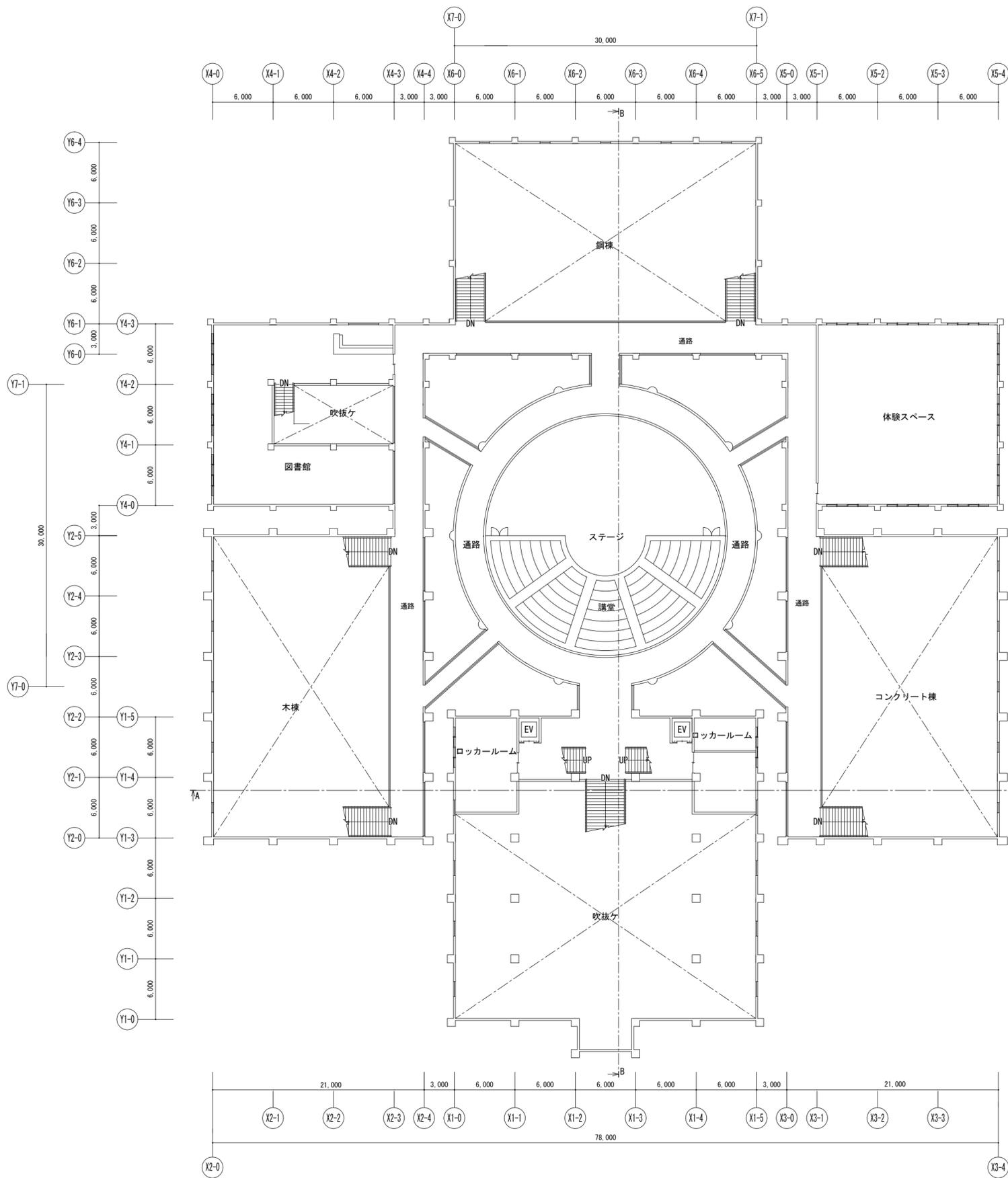
B1階は各棟の研究室や倉庫になっている。また1階とリフトで繋がっておりB1階から荷物を移動させたり出来る。

建物ごとに木・鋼・RCと構造材を替え、それぞれの建物が構造材に関する展示スペースになっている。また展示スペースの中心にはモデルとなる建築物そのものを展示することで、その場で特徴を学ぶことができます。

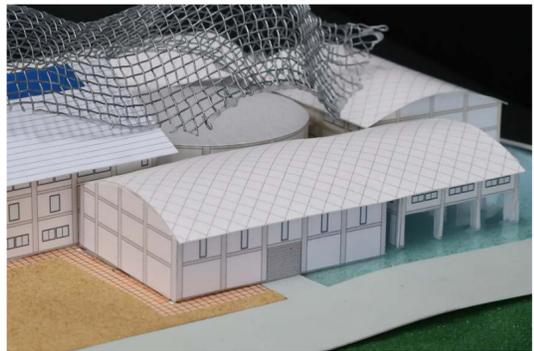
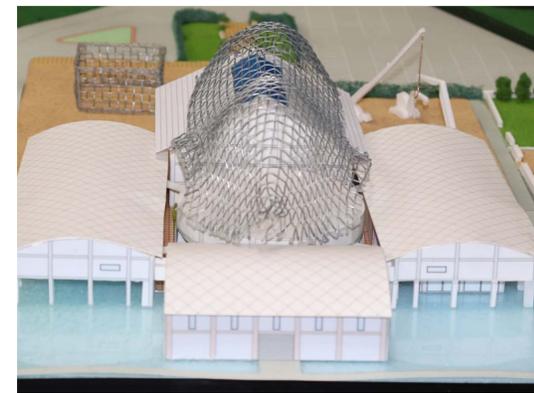
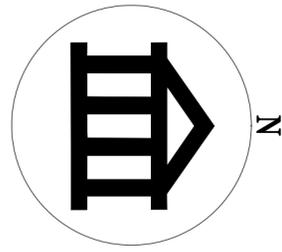
木造棟は木造関することを展示している。外側の建物は木造山形ラーメン工法で出来ており内部には木造の住宅が建てられている。また、木造に関するものが数多く展示されている。



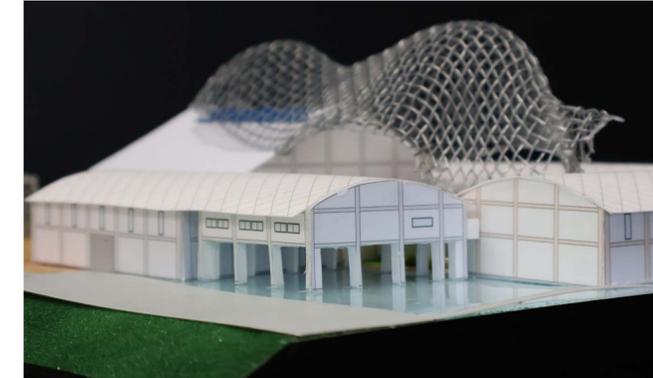
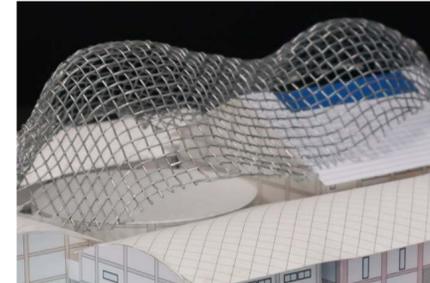
1階平面図 1/350



2階平面図 1/350

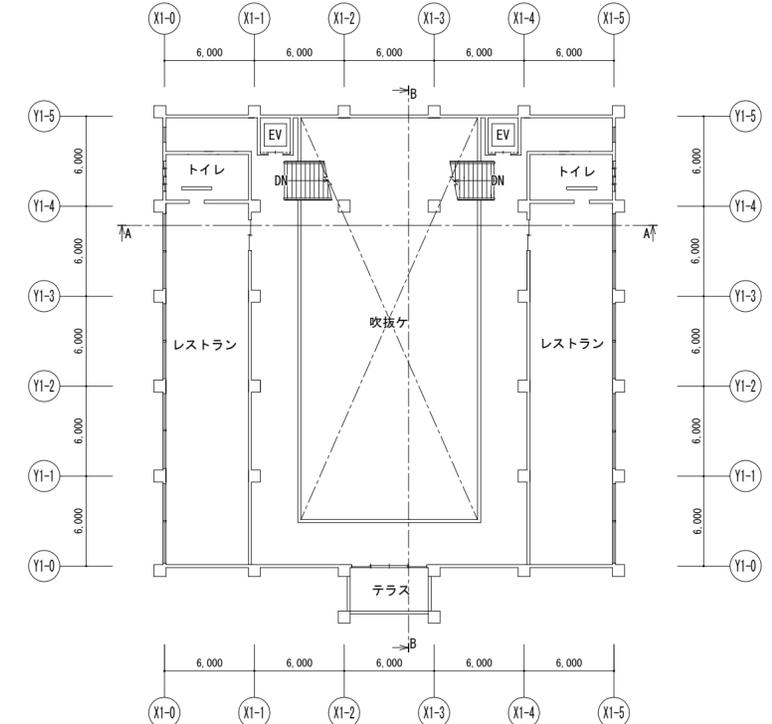
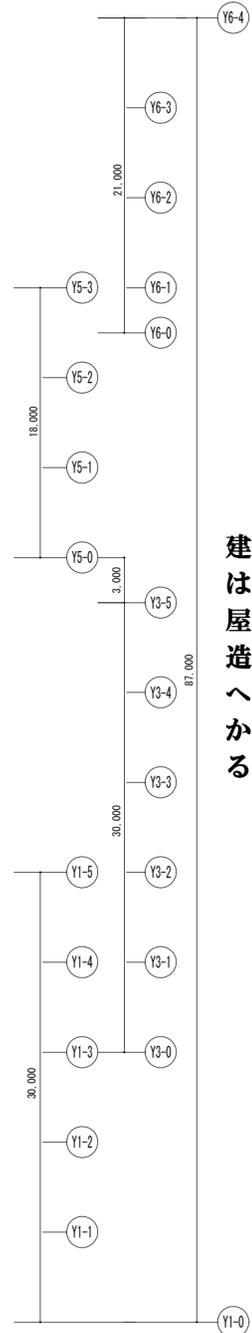


鉄筋コンクリート造棟、鋼構造棟はそれらに関するものが展示されている。木造棟と同様に山形ラーメン構造で建てられている。鉄筋コンクリート造や鋼構造の特徴を学ぶことができる。

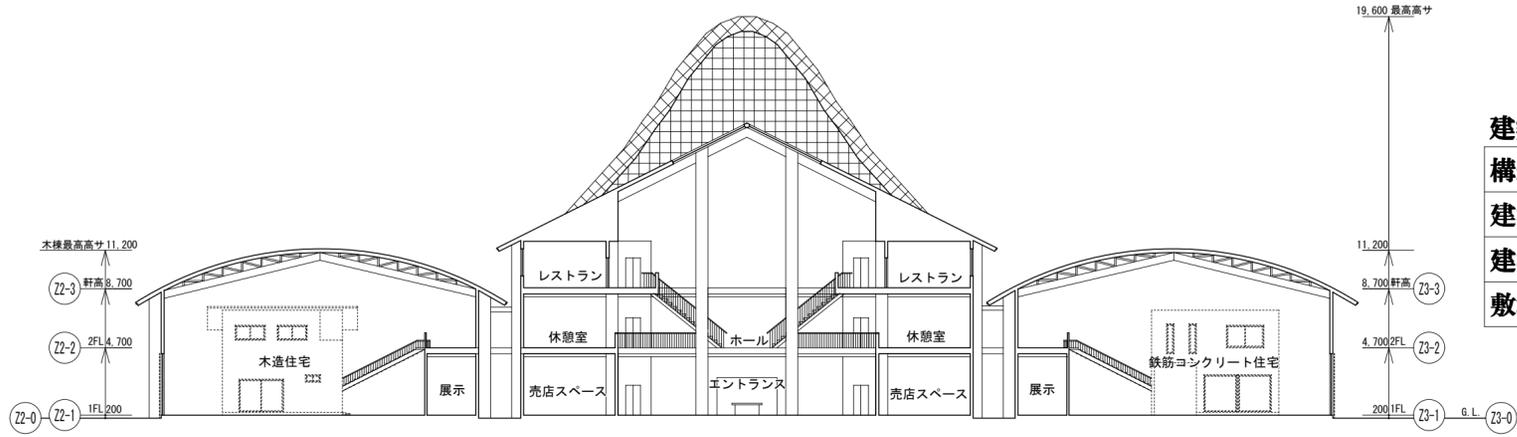


建物の中心部に位置する円形の建物では講話などが出来る講堂になっている。屋根はオペラハウスのようなシェル構造で作られている。また、ほかの建物へのアクセスのしやすさを考慮し講堂からどの建物に行けるようになっている。

体験スペースでは木材加工や鉄筋組み立て、鋼の溶接など、実際に体験できるようになっている。加工の機械なども完備されておりDIYとしても使える場所となっている。



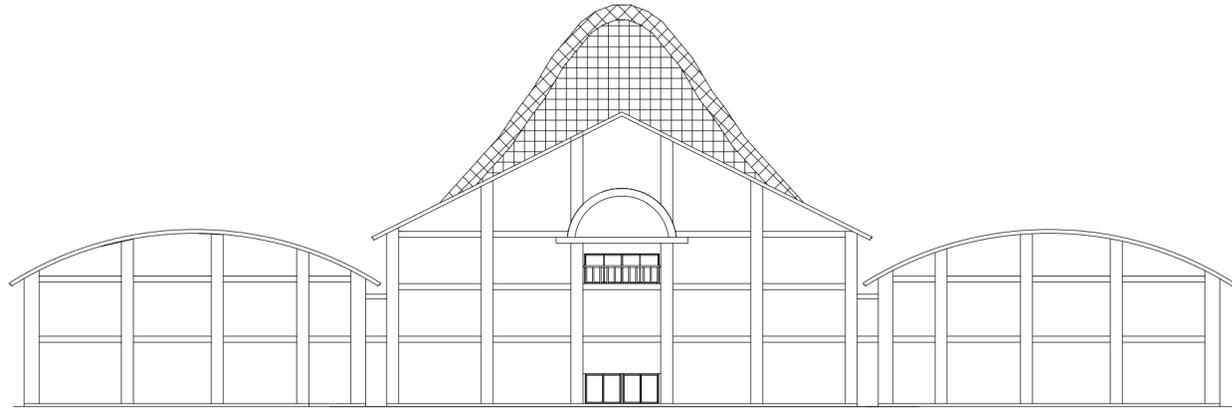
3階平面図 1/350



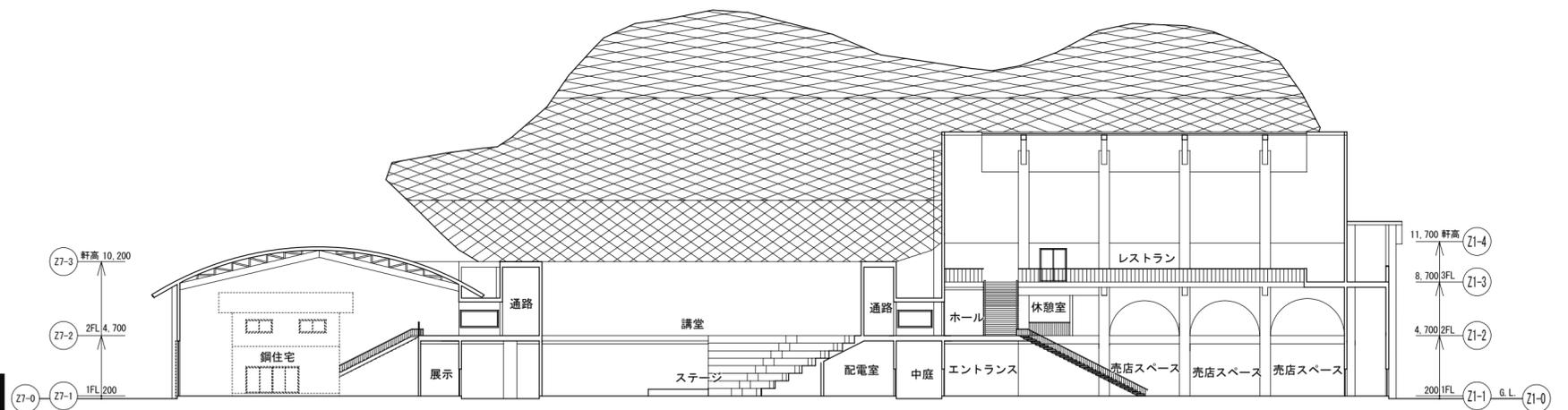
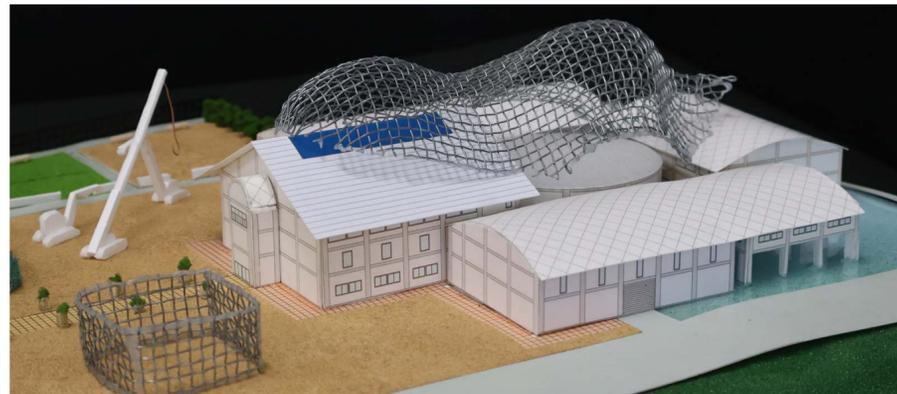
A-A断面図 1/350

建築概要

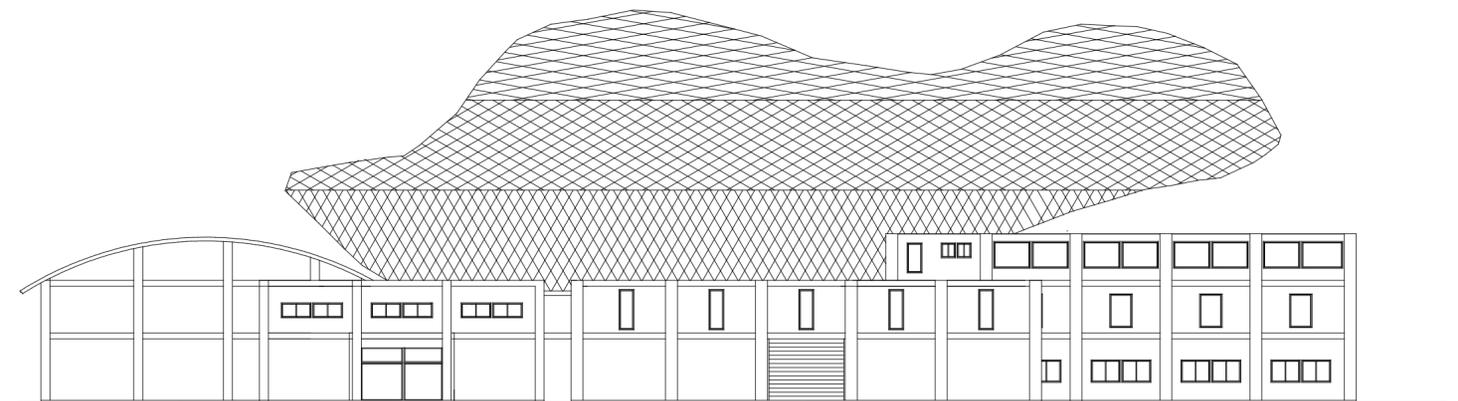
構造	木造・鉄筋コンクリート造・鋼構造
建築用途	博物館・講堂
建築面積	5060㎡
敷地面積	約30000㎡



東立面図 1/350



B-B断面図 1/350



南立面図 1/350